

理事長就任挨拶



峰ヶ丘同窓生の皆様、如何お過ごしでしょうか。この度、常任理事会の理事長を務めるよう会長より指名を受けました、畜産S51年卒の杉田昭栄です。峰ヶ丘同窓会を船「峰ヶ丘丸」に例えれば常任理事会は「峰ヶ丘丸」の航海を推進する機関室のようなものかと思えます。「峰ヶ丘丸」の舵を取られる会長の下、機関室長として常任理事会をまとめて同窓会の運営に努めて行く所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。私は平成24～27年度まで農学部長を務めさせていただきました。その間、90周年記念行事、学生支援など学部運営には同窓会より多大なご支援いただき大変心強く感じました。この場をおかりしまして御礼を申し上げます。誠に有難うございました。また、学部長職を経験して学部と同窓会の関係についても幾つか勉強になることがありました。その経験を今後の同窓会運営に生かしていきたいと思えます。

さて母校の近況について簡単に触れさせていただきます。22年間続いた生物生産科学科は本年3月に最後の卒業生を社会に送り出しました。本年度の就職率は99%と高く教育現場の責務を果たせたものと考えております。それに代わって3年前にスタートした生物資源科学科および応用生命化学科は満4年を迎え1～4年生まで揃ったことになり

峰ヶ丘同窓会理事長 杉田 昭栄 (畜昭51卒)

ます。来年3月の新学科1期生の進路状況が楽しみなところ です。

一方、国立大学法人宇都宮大学は、第3期中期目標・中期計画に入りました。これまでの2期12年間の歩みを総括し、大きな機構改革とその成果を求められる正念場の時期でもあります。その旗印的取り組みとして一昨年から構想が描かれていた新学部が本年4月にスタート致しました。すなわち、宇都宮大学は教育学部、国際学部、工学部、農学部、地域デザイン科学部の5学部体制になり「地域の知の拠点」として一層の発展を目指すことと成りました。さらに、現在は、大学院の全学的見直しなど社会の変化に対応できる柔軟な高度専門教育体制整える議論も活発化してまいりました。

このような学内の変化の波を受けながら同窓会としては卒業生と母校、会員相互の絆をいかに繋いでいくかという道さがしが課題と考えています。思えば農学部設立100周年を迎える節目も間もなくやってきます。変化と継承という新たな課題も見えてきました。いずれにしても、伝統ある農学部および同窓会の増々の発展に努めて参りたいと考えています。皆様方にはより一層のご教示、ご協力をお願いしご挨拶とさせていただきます。

平成29年版会員名簿 発行のお知らせ

新しく「平成29年版会員名簿」が、平成29年12月に発行されます。**同封の会員登録データハガキは、訂正の有無にかかわらず、必ず返送をお願いいたします。**

なお、会員名簿ご購入ご希望の方は、このハガキにて、お申し込みくださいますようお願いいたします。

名簿発行日：平成29年12月上旬
販売価格：会 員 3,700円
非会 員 6,000円

※在校生・学内教員にはCD版を配布、名誉教授の先生には冊子体を無償贈呈いたします。

